事例No.	1917
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	岐阜県多治見市

事例区分	公営企業

タグ	・病院事業 ・組織改革 ・公共施設活用

事例種類	指定管理

事例内容・タイトル

市民病院の指定管理者制度の導入

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【岐阜県多治見市】
市民病院の指定管理者制度の導入

指定管理 **病院事業**

岐阜県多治見市 市民健康部保健センター

● 取組の概要

市民病院の経営健全化のため、指定管理者制度を導入した。また、老朽化した病院を建て替え、新病院として診療を開始した。

◆総事業費　建設費 約40億円、 医療機器整備費 約11億円

◆背景

- 市直営による市民病院の運営においては、医師不足による患者減少、経営悪化が問題となっていた。
- この課題を解決するため、指定管理者制度を導入し、民間の経営手法を取り入れた運営を行うこととした。

◆具体的内容

- 平成20年4月に経営在り方検討委員会を設置し、同年7月に経営形態の変更の決定、病院職員への説明、議会への説明を随時実施した。
- 平成20年11月に指定管理者募集を開始し、平成21年3月に指定管理者を決定した。
- 平成21年4月から1年かけて職員交流、引継ぎ等を実施した。
- 平成22年4月から指定管理者制度に移行した。
- 新病院建設に関しては、平成22年3月に基本設計、平成23年3月に詳細設計を実施した上で、建設工事に着手し、平成24年8月に新病院での診療を開始した。
- 新病院建設に合わせ、最新の医療機器を整備した。

◆効果

- 指定管理導入以降、医師数が徐々に増加した。
  （医師数：平成22年度 12人→令和3年度 37人）
- 医師の増加に伴い、患者数が増加した。
  （入院患者数：平成22年度 67,202人→令和3年度 115,215人）

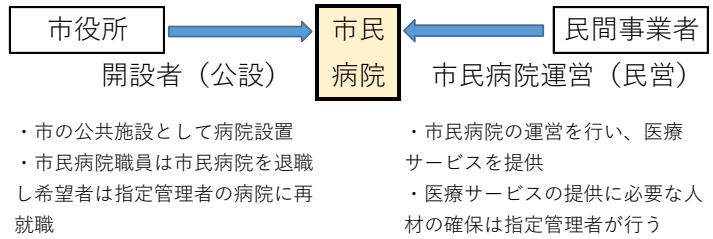
● 取組のポイント

- 民間の経営ノウハウを活かした運営が行われることにより、直営時代には悪化の一途をたどっていた経営状況が徐々に改善されてきた。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　108,139人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　91.25km^2（令和4年1月1日時点）
- 許可病床　250床（令和3年度決算）

指定管理イメージ



● 取組のスケジュール

- 平成20年2月に経営形態の見直しについて検討を開始し、平成20年7月に指定管理者制度を採用することを決定。
- 平成22年4月から指定管理者制度に移行。

● 今後の展望

- 引き続き、指定管理者と協力し、一次医療機関である地域の診療所、三次医療機関である県立病院とのより一層の連携強化を図り、急性期医療から回復期医療を担う中核的医療機関としての役割を果たしていく。